(19)日本国特許庁(JP)

離別記号

(51) Int.Cl.⁵

(12) 公開特許公報(A)

广内整理番号

(11)特許出願公開番号

特開平4-334885

技術表示簡所

(43)公開日 平成4年(1992)11月20日

(SI)III.CI.		可能在用了 1.1	1文/1942八回//
H01R 13/		81-5E	
13/-	6 303 E 733	81-5E	
H04Q 9/	0 301 B 706	60-5K	
H05B 37/	2 C 831	3-3K	
		1	審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)
(21)出願番号	特顧平3-105599	(71)出願人	000002185
	•		ソニー株式会社
(22)出願日	平成3年(1991)5月10E	1	東京都品川区北品川6丁目7番35号
		(72)発明者	稻永 潔文
		=	東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
			一株式会社内
		(72)発明者	
		(-7,72,71	東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
			一株式会社内
		(72)発明者	
		(12/)2.914	東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
			一株式会社内
		(7.4) (A.TH.)	
		(74)代理人	弁理士 山口 邦夫 (外1名)

FΙ

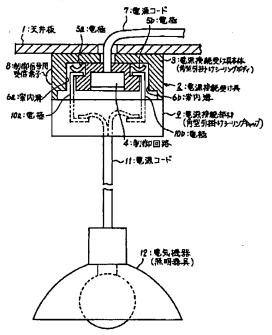
(54) 【発明の名称】 電気機器の電源接続受け具

(57)【要約】

【目的】従来使用されている角型引掛けシーリングボディをこの発明に係わる角型引掛けシーリングボディ3に交換するだけで、照明器具12の明るさをワイヤレスで制御できるようにした。

【構成】角型引掛けシーリングボディ3の側面に制御信号用受信素子8を取り付け、内部に制御信号用受信素子8からの制御信号により制御される制御回路4を設け、照明器具12を制御回路4を介して電源コード7に接続した。

電源接続受け具の一例の使用状態の一部断面図



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 電気機器を商用交流電源に電気的かつ機 械的に連結する電源接続受け具本体の側面に、ワイヤレ スで送信される制御信号を受信できる制御信号用受信素 子が取り付けられ、上記電源接続受け具本体内には、上 記制御信号用受信素子で受信された制御信号に基づい て、この電源接続受け具本体に連結されて使用される電 気機器の使用具合いを調節する制御回路が設けられたこ とを特徴とする電気機器の電源接続受け具。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】この発明は、照明器具またはミラ ーポールあるいは扇風機など商用交流電源に接続して使 用される電気機器の電源接続受け具に関する。

[0002]

【従来の技術】照明器具、ミラーボールや扇風機などの 電気機器を天井または壁の高所などに取り付け、その明 るさや回転速度の調節または電源のオン/オフを行いた い場合には、通常その調節器を壁面の下方に取り付けて これより電源コードを電気機器の電源接続受け具まで引 20 き回している。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】したがってたとえば照 明器具を明るさの調節可能なものに変更したい場合に は、この照明器具の電源接続受け具からこの調節器まで 電源コードを引き回さねばならない場合があり、この電 源コードが壁面に露出する場合には不体裁となる問題点 があった。

【0004】その上この照明器具の明るさを調節するに は、調節器まで足を運ばねばならず面倒である問題点も あった。さらに複数個の照明器具を個別に調節するよう な場合では、調節器の設置場所および配線などで制約を 受けて任意の場所を選べないなどの問題点もあった。

【0005】この発明は上述した問題点を構成簡単にし て容易に解決したものである。

[0006]

【課題を解決するための手段】上述の課題を解決するた めこの発明においては、電気機器を商用交流電源に電気 的かつ機械的に連結する電源接続受け具本体の側面に、 ワイヤレスで送信される制御信号を受信できる制御信号 用受信素子が取り付けられ、上記電源接続受け具本体内 には、上記制御信号用受信案子で受信された制御信号に 基づいて、この電源接続受け具本体に連結されて使用さ れる電気機器の使用具合いを調節する制御回路が設けら れたことを特徴とするものである。

[0007]

【作用】この発明においては、図1に示すように電気機 器を商用交流電源に接続するための電源接続受け具本体 3の側面に、ワイヤレスで送信される制御信号を受信で

御信号用受信素子8で受信された制御信号に基づいて制 御される制御回路4が設けられており、ワイヤレスによ る制御信号により、この電源接続受け具本体3に連結さ れる電気機器の使用具合いを調節できる。

[0008]

【実施例】続いてこの発明に係る電気機器の電源接続受 け具の一例を、図1を参照して詳細に説明すると、1は 天井板、2はこの発明に係わる電気機器の電源接続受け 具である。この電源接続受け具2は従来周知の電源接続 10 受け具本体3内に制御回路4が内蔵され、側面の一部に は制御信号用受信素子8が取り付けられて構成されてい る。制御回路4および制御信号用受信素子8は図2で説 明する。

【0009】電源接続受け具本体3は照明器具などの電 気機器をたとえば100Vの商用交流電源に対して電気 的かつ機械的に簡単に着脱できる器具を意味し、図1で は角型引掛けシーリングボディを使用した場合を示して おり、天井板1の下面にネジ(図示せず)などにより取 り付けられている。5 a および5 b は角型引掛けシーリ ングボディ3内に設けられている一対の電極であり、制 御回路4を介して電源コード7に接続されている。なお 電源接続受け具本体3としては、その他レセプタクルな どの電球用ソケットまたは電源プラグ用コンセントなど がある。

【0010】9は電源接続受け具2と対となって使用さ れる電源接続部材を示し、この例では角型引掛けシーリ ングキャップが使用されている。この角型引掛けシーリ ングキャップ9の一対の電極10aおよび10bを上述 した角型引掛けシーリングボディ3に形成されている― 対の案内滯6 a および6 b に挿入して後、この案内滯6 aおよび6bにしたがって所定の角度だけ回すと、図示 するように角型引掛けシーリングキャップ 9 が角型引掛 けシーリングボディ3に機械的に連結され、かつ電極1 0 a および 1 0 b が電極 5 a および 5 b に 電気的に接続 される。11はこの電極10aおよび10bに接続され た電源コードであり、その下端には電気機器としての照 明器具12が吊り下げられている。

【0011】図2はこの発明に適用できる制御回路4の 一例を示すもので、以下これについて説明する。上述し た制御信号用受信素子8としては、テレビ受像機または ビデオレコーダなどをワイヤレスで遠隔制御する場合に 使用する周知のコマンダ(図示しないが一般的にリモコ ンといわれるもの)から送信される制御信号、たとえば 赤外線などの電磁波(制御信号で変調されている)を受 信するものと同様なセンサが使用される。また電磁波の 代わりに音波も使用できる。

【0012】このコマンダから送信される赤外線が制御 信号用受信素子8で受信され、この受信信号が高周波増 幅器21により増幅されて次段の検波器22で検波さ きる制御信号用受信素子 8 が設けられ、内部にはこの制 50 れ、さらに次段のコントロール信号抽出回路 2 3 に入力

30

3

される。このコントロール信号抽出回路23からは、コ マンダからの制御信号の種類に応じたコントロール信号 が抽出され、これがコントローラ24に入力される。2 5は直流電源であり、これには電源コード7から商用交 流電流が常時供給され、制御回路4は常時動作状態にあ

【0013】また電源コード7には、交流電流の流通角 を変更できる電流流通角変更回路26を介して電球など の負荷27が接続される。電流流通角変更回路26は図 3に示すように、交流電流の各半周期毎にその電流の流 通角Tを制御できる素子、たとえば半導体制御整流素子 (SCR) を使用したものが知られているので、その詳 細な説明は省略する。この例ではコントローラ24から の出力により電源スイッチ28をオン/オフし、負荷2 7に対する電流流通角を3段に変更するようにした場合 を示しているが、この例に限られるものではなく、たと えば明るさのスムーズな変更なども可能である。

【0014】なお上述においてはこの発明を照明器具に おける明るさを調節する場合について説明したが、その 他天井から吊り下げて使用する扇風機またはミラーボー 20 ための波形図である。 ルなどにもこの発明を適用できることは明かであり、こ の場合は扇風機またはミラーボールの回転速度を任意に 制御できる。さらに複数個の電気機器が存在する場合で も、それらを個別にかつ容易に制御できる。

【0015】図1では、電源接続受け具本体3内に制御 回路4を入れて電源接続受け具2を構成したが、電源接 統受け具本体3とは別体に制御回路4を入れた電源接続 受け具2としても構成することができる。この場合にお いては、電源接続受け具2を電源接続受け具本体3のア ダプターとして使用することができる。

[0016]

【発明の効果】以上のようにこの発明に係る電気機器の 電源接続受け具によれば、天井など高所に設置した照明 器具などの電気機器の使用具合いの調節操作をワイヤレ スにより行える効果があり、電源コードを引き回す必要 がないのでコード引き回しによる体裁の悪化が回避され る効果がある。

【0017】また現在使用されている電源接続受け具 を、この発明に係わる電源接続受け具に交換することに よって、これに連結されて使用されていた電気機器の使 用具合いを即調節可能にできる効果を有する。さらに複 数個の電気機器が存在する場合でも、それらを個別にか つ容易に制御できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係わる電気機器の電源接続受け具の 一例を示す断面図である。

【図2】この発明に係わる電気機器の電源接続受け具に 使用できる制御回路の一例を示すプロック図である。

【図3】図2に示す電流流通角変更回路の動作の説明の

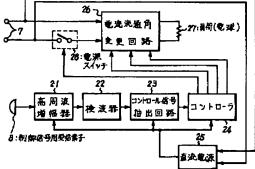
【符号の説明】

- 2 電源接続受け具
- 電源接続受け具本体(角型引掛けシーリングボデ ィ)
- 4 制御回路
- 5 a 、 5 b 電極
- 電源コード
- 制御信号用受信案子
- 9 電源接続部材(角型引掛けシーリングキャップ)
- 30 12 電気機器

[図2]

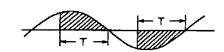
刺御回路図

配选液沥 角 **争 町 35**



【図3】

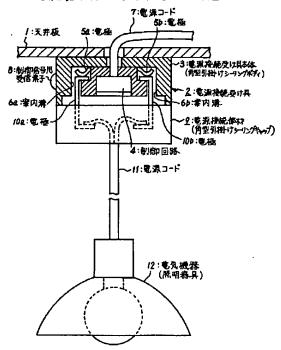
電流流通角を更回路の動作説明図



1 . . .

[図1]

電源接続受け具の一例の使用状態の一部断面図



DERWENT-ACC-NO: 1993-005735

DERWENT-WEEK: 199301

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE:

Power receptacle for ceiling

lighting apparatus - has

signal receiver for controlling

lighting by wireless

remote control signal transmission

NoAbstract

PATENT-ASSIGNEE: SONY CORP[SONY]

PRIORITY-DATA: 1991JP-0105599 (May 10, 1991)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE PAGES

MAIN-IPC November 20, 1992 N/A

JP 04334885 A Nover 004 H01R 013/66

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DESCRIPTOR APPL-NO

APPL-DATE

JP 04334885A

N/A

1991JP-0105599 May 10, 1991

INT-CL (IPC): H01R013/46, H01R013/66, H04Q009/00, H05B037/02

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 04334885A

EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: POWER RECEPTACLE CEILING LIGHT APPARATUS

SIGNAL RECEIVE CONTROL

LIGHT WIRELESS REMOTE CONTROL SIGNAL

TRANSMISSION NOABSTRACT

DERWENT-CLASS: W05 X26

EPI-CODES: W05-D04; X26-C03C;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1993-004230